

社協だより

かがみ

No.31

編集・発行
鏡校区社会福祉協議会

唐津市鏡1826-2

電話77-0510



令和3年度総会 4月24日 善行表彰（鏡中 ソフトボール部）

技術革新と災害

鏡校区社会福祉協議会

会長 村山輝昭



オリンピックが東京で開催されるのは五十七年ぶりである。当初の目的である東北の震災復興を世界にアピールするはずであったが、今までの例のないコロナ禍での大会であり、コロナに打ち勝った証と言いつつも感染拡大が収まらない。いつの間にか開催そのものが目的にすりかわった感否めない。賛否両論ある中で、会場も殆どが無観客となりアスリートにとっては淋しい気持ちであったと思うが一生懸命頑張った。

前回の大会は日本の戦後復興を世界にアピールした大会であった。前年には東海道新幹線が開通し、都市高を始め全国の高速道路も整備された。五十七年後の今日、開会式でも披露されたドローン技術の進歩も素晴らしかった。又いよいよ民間人でも宇宙へ行く時代がやってきた。しかし人類の文明、技術が進歩しようとも自然に抗う事は出来ない。だが技術の進歩を防災減災へつないでいく事は出来るはずである。ここ数年は特に災害が多発している様に思われる。日本だけではない。今

年はヨーロッパ、中国で大雨による多大な被害が出た。地球温暖化による異常気象である。今年も全国的に大きな被害が多発しております。二年前の北部九州災害を上回る被害が想定されております。私達はここ数年、熊本地震をはじめ一昨年の武雄地区の豪雨災害にボランティアとして参加活動してまいりました。私達鏡社協として、これからも共助の精神で災害ボランティアの参加や募金活動にも積極的に取り組んでいきたいと思っております。又一年半にも及ぶコロナ禍の中で活動が制約されている状況ですが出来る事から少しずつ活動を広げていきたいと思っております。

鏡おたすけ隊の活動は少しずつではありますが、校区住民の皆さんにも浸透してきた様に思われます。部会活動や視察研修等も中止や延期となっておりませんが、ワクチン接種も進み収束を祈り事業が再開出来る事を期待しております。人類は自然には勝てないがウイルスには打ち勝ってきた歴史があります。



令和2年度 事業実績報告書



部会名	基本課題	実践課題	実践活動内容
一般事業	各部署の連絡調整 全体的な計画立案	会議	4/25 第34回社協総会(中止)、事務局会(5回)、常任委員会(5回)
		広報活動	9/1 社協だより発行(30号) 全世帯配布
		福祉員研修	コロナにより中止
		研修視察等	会員研修及び視察研修 コロナにより中止 11/30 久里校区社協受け入れ(34名)、12/4 相知社協受け入れ(8名)
		鏡おたすけ隊活動	7/12 有償ボランティア活動説明会、9月活動開始 10/31 情報交換会・事例研修会
		助成	7/5 原・柏崎いきいきサロン助成(31名) (1地区1件)
		初盆供養	8/12 初盆参り(20件)
部会	高齢者部会 在宅福祉の	事務・会議	部会会議(3回) 事業実施等について
		一人暮らし者交流会	コロナにより中止
		一人暮らし者食事会	コロナにより中止
		一人暮らし者慰問	12/20 メッセージを添えて一人暮らし者にもち配布(175名) しめ縄(鏡山小5年生の作品)48個を配付 一松南町、半田、宇木、原
	児童部会 児童の健全育成	事務・会議	部会会議(2回) (6/18 18名) (3/8 15名) 11/21 産業文化祭(書道作品展示10名 作品撤去8名)
		善行の奨励	総会中止のため鏡山小・鏡中へ表彰状を持参 挨拶をよくする児童の表彰 鏡山小(6名) 鏡中(1名)
		伝統文化の継承	11/23 産業文化祭習字作品展示(10名)
		子育て支援	びよびよ体操10・11・12月3か月のみ実施、鏡中の読み語り第3水曜実施(9回) 通学合宿及び放課後児童クラブとの交流会は、コロナにより中止
	会 身障がい者部会 ふれあいの	研修視察	コロナにより中止
		事務・会議	全体会議 6月・2月(2年度事業経過報告・3年度計画等)
		身障者交流会	7月 障がい者施設での交流 コロナにより中止 10月 校区内障がい者と小旅行 コロナにより中止
		身障者支援活動	危険箇所改善箇所調査陳情 10月地域安全推進委員会において行政による視察 2月 佐賀県障がい者文化芸術作品展視察研修 参加者少数で中止
事業 生活環境部会 整備、美化の	身障者訪問	12/24 メッセージを添えてクリスマスケーキを配付(44名)	
	事務・会議	部会会議(3回) 産業文化祭(バナナのたたき売り)中止	
	環境美化活動	6/23 ラブアースクリーン作戦(中止)、7/5 鏡校区クリーン作戦(941名) 11/15 虹の松原清掃(294名)	
	環境巡視活動	ゴミ分別看板の設置(3カ所) 1/28 女性部との合同河川等のパトロール(30名)	
ボランティア部会 の啓発、開拓	研修視察	女性部会と合同で多久クリーンセンター視察(コロナにより中止)	
	事務・会議	各活動日に次回の取組予定を相談	
	募金活動	12/22 年末募金活動を校区の4店舗で実施(15名) 51,420円	
	環境美化活動	8/8 古代の森会館の樹木剪定(5名) 12/20 古代の森会館の樹木薬剤散布等(2名) 3/27 鏡山遊歩道のサクラの手入れ及び樹木の剪定等を実施(12名)	
女性部会 女性による福祉事業	一人暮らし者支援活動	要望なし	
	事務・会議	全体会議実施なし 役員会議(3回)	
	一人暮らし者支援	6/1 ゴキブリ団子作り、(16名)一人暮らし高齢者へ配布、人数(169名) 8/31 敬老の日プレゼント作り コロナにより中止	
	環境活動	1/28 生活環境部会との合同河川等のゴミ拾い(7名) 11/4 ぼかし(マイエンザ)作り(9名)	
		研修視察	コロナにより中止 生活環境部会との合同視察研修(コロナにより中止)

一般会計報告書

収入の部	科 目	2年度予算 (A)	2年度決算 (B)	増減比較 (B-A)	令和3年度予算
	I 前年度繰越金	431,086	431,086	0	1,480,539
	II 繰入金	800,000	800,000	0	0
	III 校区会費	152,000	152,000	0	157,000
	IV 助成金	1,039,150	1,054,150	15,000	1,075,000
	V 寄付金	0	0	0	0
	VI 受取利息	0	8	8	8
	VII 雑収入	0	18,000	18,000	0
収入の部合計		2,422,236	2,455,244	33,008	2,712,547
支出の部	I 事業費	2,248,500	974,705	△1,273,795	2,249,500
	① 一般事業費	1,178,000	657,249	△ 520,751	1,178,000
	② 部会事業費	1,070,500	317,456	△ 753,044	1,071,500
	1 高齢者部会	455,000	49,540	△ 405,460	456,000
	2 児童部会	174,000	86,304	△ 87,696	174,000
	3 心身障がい者部会	157,000	80,061	△ 76,939	157,000
	4 生活環境部会	114,500	49,948	△ 64,552	114,500
	5 ボランティア部会	70,000	21,030	△ 48,970	70,000
	6 女性部会	100,000	30,573	△ 69,427	100,000
	II 予備費	173,736	0	△ 173,736	463,047
支出の部合計		2,422,236	974,705	△1,447,531	2,712,547

「鏡おたすけ隊」活動の実態について

校区社協
事務局 片峯 幸代

昨年八月に七十五歳以上の高齢者及び障がい者のいる世帯を対象に有償のボランティア団体を「鏡おたすけ隊」が設立されました。設立に当たっては、唐津市社協の地域包括支援センターの指導の基に、着々と進められています。

各地域では、介護予防や生活支援を支えるために、行政連絡員(町内会長)・民生委員・福祉員の方々が中心になって活動を進めています。どんな小さな事でも生活の中で困っている事がありましたら気軽にご相談ください。

実際の活動は、昨年の九月から今年の八月までに二十数件の活動要請がありました。次に、活動事例と活動されている様子を紹介します。

※活動事例

- ・庭の草取り
- ・樹木の剪定
- ・家具の搬入、組み立て
- ・家周りの片づけ
- ・ゴミの分別、運搬
- ・荷物の整理
- ・入院準備
- ・窓拭き 等々

☆利用券は古代の森会館とNPO法人「幸の輪」で販売されています。

※活動の様子



☆利用代金は、概ね一作業三十分ごとに五百円券、ゴミ出し一回二百五十円券です。

これからは鏡校区社協では地域でのつながりを大切にしながら住み慣れた所でいつまでも楽しく暮らしていけるように支援活動を促進していきます。

最後に、いつも快くボランティア活動を引き受けてくださる「鏡おたすけ隊」の皆さんに心より感謝申し上げます。

